



2X38cm 3Way Floorstanding Speaker System  
*New* **Project EVEREST DD67000**  
**DD65000**



JBL の誇るフラッグシップモデル、Project EVEREST DD66000をベースに、さらに最新の技術と最高の材料を投入。新素材コーンを採用した新開発 15 インチ径ウーファー2 機と、JBL 最大サイズの 4 インチ径コンプレッション・ドライバー、優美なラウンドキャビネットと一体となった大型ホーン、さらに伝統と革新を融合させた優れたインダストリアル・デザインなどの構成要素を共有しながら、異なる二つの個性を確立。新たな再生芸術の世界へと昇華させた、新世代フラッグシップの誕生です。

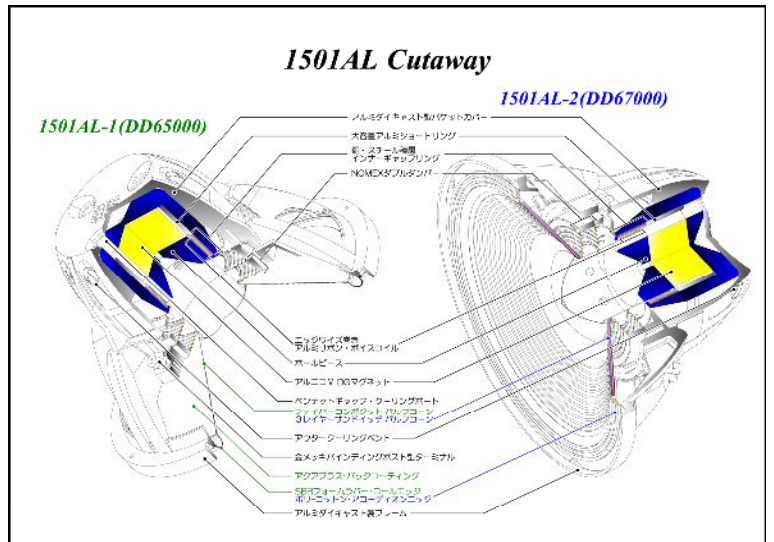
- 時代を超えてフラッグシップであり続けるために、最高の技術と材料を投入したアップグレード・モデル
- Project EVEREST DD67000(RW/MA)**      ¥3,000,000(税込¥3,150,000)/1 本
- 最新技術の投入が、EVEREST に新たな個性と魅力をもたらしたバリエーション・モデル
- Project EVEREST DD65000(ZW)**      ¥2,400,000(税込¥2,520,000)/1 本

**フラッグシップに相応しい JBL 最高峰を誇るユニット群を搭載**

**380mm 径ウーファー：1501AL-2(DD67000) / 1501AL-2(DD65000)**

DD66000 用 1501AL をベースに、過渡特性の改善と共に低域再生レンジの拡大を果たした新設計ユニットです。

- 強く安定した磁界による躍動的なサウンドが魅力のアルニコ5DGマグネットを採用。
- 磁気変調を徹底的に抑え磁気動作点を安定した状態に保つために、銅リング 15 枚とスチールリング 16 枚を交互に重ね合わせたインナーギャップ・リングをトッププレートに装着。
- さらに極厚アルミショートリングをギャップ底部に装着し、アルニコマグネットの減磁作用を完全に克服。
- 大きな縦/横比のアルミニウム・リボン線をエッジワイズに巻き上げた 100mm 径ショートボイスコイル採用。
- 完全対称型の前後動作を行うことにより二次高調波歪を打ち消すミラーイメージ・デュアル・ダンパー採用。
- JBL 独自のベンテットギャップ・クーリングシステム搭載。パワーコンプレッションを防ぎ、驚異的なダイナミックレンジを獲得。



**DD67000 用 1501AL-2 特徴**

- インジェクション・フォーム・コア材を 2 枚のピュアパルプ・スキンの間に注入、硬化させた独自の 3 レイヤー・サンドイッチ・コーンを採用。剛性とダンピング効果の高いサンドイッチ構造が分割振動の徹底排除と共に低域の S/N 感の改善を果たします。
- エッジには、低質量という音響的優位性と共に耐候性、耐久性とを両立させたアコーディオン・プリーツ・クロスエッジを採用。ポリ・コットン素材はコーンの激しい動きに耐える強靭さと、その動作を妨げないしなやかさを長期間に渡り発揮します。

**DD65000 用 1501AL-1 特徴**

- ナチュラル・パルプにグラスファイバーと特殊強化繊維を混入することで強度を高めたファイバー・コンポジット・パルプコーンを新採用。分解能とスピード感をアップさせながら低域拡張を果たしています。
- 軽量、低密度でありながら耐久性と耐候性に優れた SBR フォームラバー素材を用い、コンピューター・シミュレーション技術により部位ごとの厚みや断面形状を最適化したハーフロールエッジを採用。

## 100mm 径コンプレッション・ドライバー：476Be(DD67000) / 476Mg(DD65000)

最先端のダイヤフラム素材を用いた JBL 最大サイズを誇る大口径コンプレッション・ドライバーです。

- 軽量アルミニウム・リボン・エッジワイズ巻きボイスコイル採用。
- マグネットには、最強の磁力を誇るネオジウムマグネットの中でもさらに磁力の高いハイグレードタイプを採用。
- ポールピース部に圧入されたピュア銅・ショートリングが高域出力の減衰を押さえ、高調波歪を低減。
- 垂鉛ダイキャスト製コヒレント・ウェイブ・フェイズプラグを採用し、位相干渉を排除。スムーズな周波数特性と共に二次高調波歪みを低減させています。
- 剛性の高い振動板素材に複雑なダイヤモンド・パターンの一体加工を行った独自のダイヤモンドエッジ採用。
- ダイヤフラム裏面に分割振動を抑える JBL 独自の“*Aquaplas™*”を塗布。S/N 感に富んだ歪の無い優れた高域レスポンスがあらゆる音楽情報をありのままに空間に再現します。



### DD67000 用 476Be 特徴

- 金属素材中最も高い硬度対密度比を誇るピュア・ベリリウムを、高温高圧プレス技術を用いてダイヤフラムへ成型。軽量高剛性素材が優れた分解能を発揮し、入力信号を忠実に余さず音響エネルギーに変換します。
- ベリリウムダイヤフラムの豊かな情報量が演奏の微妙なニュアンスを忠実に伝え、高いリアリティーを発揮。

### DD65000 用 476Mg 特徴

- 振動板素材にマグネシウム合金ダイヤフラムを採用。金属素材中最も比重が軽いマグネシウムの特性を活かし、振動板に十分な厚みを持たせることで高い剛性を確保。
- メタル系振動板でありながらしなやかなでまろやかなマグネシウム特有の中高域特性がボーカルソースで息を呑むようなリアリティーを発揮。EVEREST に新たな魅力をもたらしています。

## 25mm 径コンプレッション・ドライバー：045Be-1(DD67000) / 045Mg(DD65000)

JBL の誇る超精密加工技術が実現した、広帯域、高感度、高出力を誇る超高域用ドライバーです。

- ダイヤフラム一体成形のリジッド・エッジ採用。超高音域まで、ピストニック・モーション領域の拡張を果たしています。
- 軽量アルミニウム・リボンをボビンを用いず単層に巻いたフォーマーレス構造の超軽量ボイスコイル・アセンブリーが超高音域までナチュラルなスーパーソニック再生を実現。
- ネオジウム・リングマグネット採用。高能率と高い出力音圧レベルを誇ります。
- 環状3スロット・フェイズプラグ採用。新たに導入されたキャスト・マグネシウム成型による3ピース構造により、高い精度と剛性を確保。より高い透明感を実現しています。



### DD67000 用 045Be-1 特徴

- 高い物性を誇るピュアベリリウム・ダイヤフラム採用。硬度対密度比の高いベリリウム素材の採用により実現した超軽量な振動系設計が優れた空間情報再現と澄み渡る超高音再生を果たします。

### DD65000 用 045Mg 特徴

- 超軽量マグネシウム・ダイヤフラム採用。マグネシウム素材の特性を活かし、振動板に十分な厚みを持たせることで超高音域まで正確なピストンモーションを実現。滑らかな音色で高域拡張を果たします。

## HF/UHF バイラジアル・ホーン：

- 大口径 4 インチコンプレッション・ドライバーを活かし、2 本の 15 インチウーファーに伍する強力な中音域エネルギーを確保するために、ダブルウーファーの採用により得られた広いバツフル幅を有効に活用し、フロントバツフルのカーブをホーンのサイドパネルに用いることで最大級の開口面積を獲得した大型ホーンを搭載。
- 上下のホーンリップの素材には、独自の“*SonoGlass™*”を採用。音響素材として理想的な比重と剛性を持ち、高精度なモールド成形が可能です。
- コンパクトな UHF ドライバーと高比重、高剛性の“*SonoGlass™*” UHF ホーンをアルミダイキャスト製ハウジングに納め、HF ホーン上部にマウントすることでシステムの帯域拡張を実現。

## 高性能ユニット群を活かし、最高峰スピーカーへと昇華させるための高度なシステム設計

### クロスオーバー・ネットワーク：

ワイドレンジ・ローディストーションの設計理念に基づき、2ウェイ+スーパーツィーターの形式を採った3ウェイ・ネットワーク。厳選された高品質パーツを採用し、歪みの発生を徹底的に抑えた低損失高精度ネットワークです。

- 15インチダブルウーファーとHFドライバーとの最適な帯域分割を果たすため、1機のウーファーを800Hz前後のHFクロスオーバー周波数まで用い、もう1機のウーファーを150Hz以下でのみ動作させるスタガーチューニング設計を採用。
- HFドライバーのクロスオーバーを800Hz前後に設定。UHFドライバーを20kHzから動作させ自然な高域拡張を実現。
- 強力なエネルギー伝送路となる二つのLF回路はエンクロージャー底面へ、デリケートなHFおよびUHF回路はキャビネット背面へ分離独立配置。電氣的、磁氣的相互干渉を最小化。
- 主要コンデンサーにアルミニウム・メタライズド・ポリプロピレン・フィルムコンデンサーを採用。過度特性を改善し、レスポンスを最適化しています。
- 2つのコンデンサー間にバイアスを加え、クラスA動作を行う事で素子の直線性を改善し歪を低減するJBL独自のチャージカップル・リニアディフィニション・ネットワーク回路を採用。New EVERESTでは、入力信号の一部を整流しバイアスとして供給することでバイアス用バッテリーを不要としたセルフバイアス方式を新採用。
- 主要なコイルに低損失空芯コイルを採用することでピーク入力に対する磁気飽和を追放。
- DD67000ではさらに、HFドライバー用回路のコイルにスペーサーを覆かせたフローティングマウント方式を新採用。476Beドライバーの高い分解能と豊かな情報量を最大限に引き出しています。



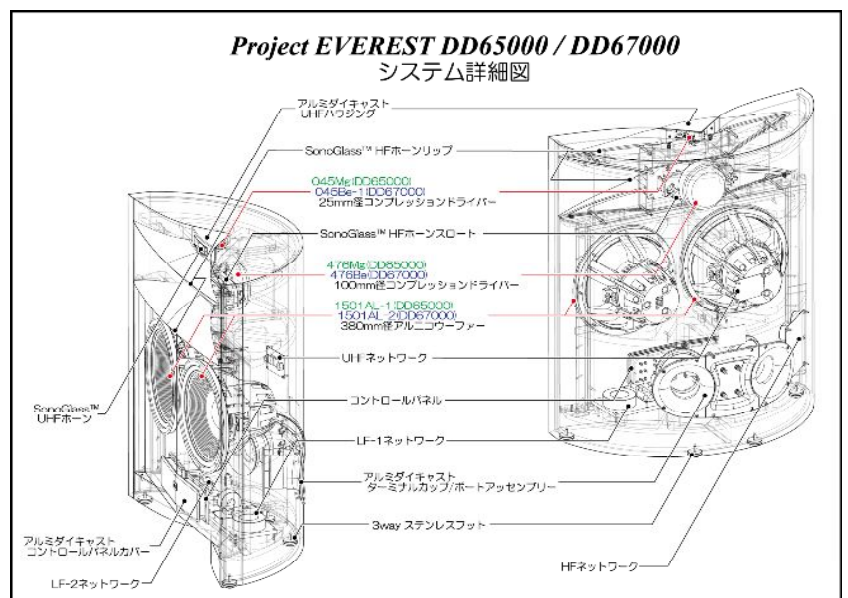
### コントロール&装備：

- 内蔵ネットワークを用いたシングルアンプ駆動やパッシブバイアンプ駆動に加え、本格的なバイアンプ駆動にも対応するLF/HFドライブモード切り替えを装備。
- 最低域側LF1ウーファーの帯域とHFドライバー帯域をそれぞれ±0.4dBの3ステップでレベル微調整が可能なアッテネーター・スイッチを搭載。
- JBL伝統のバスレフ方式を採用。リアパネルのラウンド構造がポート背圧を左右へ逃がし部屋の壁面による影響を最小化します。
- インプットターミナル・パネルと一体化した3ピース・アルミダイキャスト製ポートアッセンブリーを採用。
- 大型金メッキターミナルを用いた二組の入力端子はバイワイヤー接続、バイアンプ駆動に対応。
- 高剛性ステンレス・スチール削り出し成型による4つの足には、スパイクと床に傷を付け難いラウンドチップを取り付け可能。大型ステンレス製スパイク受けが附属。

### キャビネット：

大きな曲面のラウンド・リアパネルとHFホーンを形成するカーブド・フロントバッフル、アングルの付いたウーファーバッフルによる縦板と、半円を描く天板/底板による横板によって形成された優美なシェル構造に、複雑な内部ブレイシングを組み合わせた、剛性が高く内部定在波の極めて少ないノンカラーレーション・エンクロージャーです。

- DD67000のウーファーバッフルは、インナーバッフルにバーチ・ブライウッド(樺合板)を用いる事でバッフル剛性を高め、強力で過渡特性に優れた新型ウーファーを強固に支持。MDF材によるアウターバッフルを重ね合わせることで総板厚45mmのハイブリッド・バッフル構造としています。さらに、アウターバ



ツフル表面をカーボンファイバー・ファブリックでラッピングすることでバッフル面のダンピングと表面伝送波の拡散を図り、高い解像度を誇る新型ウーファーを最大限に活かす設計が採られています。

- DD65000 では、2枚のパネルを重ね合わせ、24本のボルトで締め上げ一体化させた総板厚45mmのMDF製。アウターバッフル表面はリアルウッド突き板仕上げとし、キャビネットとの素材の統一感を持たせています。

**外装仕上げ：**

- キャビネット外装は天然木突き板にセミグロス処理を施した風格有る仕上げ。DD67000には定評あるローズウッド(RW)とメイプル(MA)の二つの仕様を用意し、メイプル仕上げには上品な織り目を持つライトグレイ・グリルクロスを採用。DD65000にはProject K2 S9900に用い好評のゼブラウッド(ZW)仕上げを新採用。

**New Project EVEREST 仕様**

使用ユニット(DD67000)	LF：380mm 径3レイヤー・サンドイッチコーン・ウーファー(1501AL-2)×2 HF：100mm 径ベリリウム・コンプレッションドライバー(476Be) UHF：25mm 径ベリリウム・コンプレッションドライバー(O45Be-1)
使用ユニット(DD65000)	LF：380mm 径ファイバーコンポジットコーン・ウーファー(1501AL-1)×2 HF：100mm 径マグネシウム・コンプレッションドライバー(476Mg) UHF：25mm 径マグネシウム・コンプレッションドライバー(O45Mg)
許容入力 (RMS)	：500 W
周波数特性 (-6dB)	：29Hz~60kHz(DD67000)/31Hz~50kHz(DD65000)
定格インピーダンス	：8 Ω
能率 (2.83 V @ 1m)	：96 dB
クロスオーバー周波数	LLF：150 Hz LF/HF：850Hz(DD67000)/750Hz(DD65000) UHF：20 kHz
ホーン指向特性(水平×垂直)	HF：100° ×60° UHF：60° ×30°
外形寸法 (W×H×D)	：965 x 1,109 x 469mm(足含む/スパイク含まず)
本体重量	：137kg (グリル含まず)/142kg(グリル装着時)

**New Project EVEREST**



DD67000 (RW) :ローズウッド



DD67000 (MA) :メイプル



DD65000 (ZW) :ゼブラウッド

HARMAN

ハーマンインターナショナル 株式会社